

スカラ株式会社が電子瞳孔計を使用して“運転手・操縦士の睡眠不足管理”を支援

ストレス対策を研究する東京大学は、メンタルケアに役立つ機器として、スカラ株式会社の開発した電子瞳孔計を利用したプロジェクトを立ち上げます。

また、**信州大学医学部・形成再建外科学教室・名誉教授・松尾清特任教授**は、様々なストレス要因や逆境体験があったとしても、心身の健康を保って生活するにはどうしたらよいだろうか。医師（形成再建外科学）としての経験も生かしながら、健康や病気のプロセスを生物・心理・社会的アプローチで探索し、スカラの電子瞳孔計を使用して多くのデータを収集し成果を上げています。

プロジェクトチームを立ち上げる東京大学研究室では、運転手・操縦士の**睡眠不足・不安**や**ストレス**などを推し量る手段として、**スカラの電子瞳孔計に着目**しました。企業内で計測したデータを東京大学研究室で分析し、そのデータを基に指導者は運転手や操縦士にメンタルケアのアドバイスができます。

電子瞳孔計は**操作が簡単**（測定時間は1人約6秒）で軽量な上、**検査者の資格を問いません**。

スカラ株式会社はマイクロ스코プのパイオニアとして、産業・美容・医療・放送・学校教育分野で製造開発に携わっている会社です。

電子瞳孔計 DK201/DK2000は瞳孔の面積や直系の計測、光刺激による瞳孔の対光反応の計測を行います。被験者の瞳孔は**睡眠不足・不快・緊張・恐怖・薬物中毒者**などを反映します。

運転手や操縦士が持つ**睡眠不足・不安感・緊張感・恐怖感**など、ストレスの兆候を**数値化**し、指導者は始動前に瞳孔計を使用し、メンタルチェックを正確かつ迅速に管理することができます。

また、**薬物中毒者**を発見することも可能とされています。



お問合せ

スカラ株式会社 マイクロ스코プのパイオニア

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目22番2号 新宿サンエービル

TEL:03-3348-0181

FAX:03-3348-0188

<http://www.scalar.co.jp>

scalar
IMPRESSIVE WORKS